



Santa Sabina College の生徒との交流

実施日：2018年12月11日（火）

参加者：4年生全員，Santa Sabina College（SSC）生徒10名，引率の先生2名

実施内容

午前は4年生の代表生徒12名と調理実習を含めた、「だし」を中心とした和食文化の体験交流を行いました。メニューは炊き込みご飯，菊花豆腐と生麩の吸い物，だし巻きたまごです。英訳したレシピを使って説明しながら，分担して作りました。一緒に頂きながら学校生活や趣味など，さまざまな話で盛り上がりました。午後からは4年生全員が参加した全体交流会を行いました。交流会では，それぞれの学校紹介を当校生徒は英語で，SSC生徒は日本語でそれぞれ代表生徒が行いました。生徒が掃除をする日本の学校生活にSSCの生徒が驚く場面があったり，逆に多様な民族がともに学校生活を送るオーストラリアでは，違いを超えて差別をなくすイベントとして「ハーモニーデー」があることに，当校生徒が感心したりする姿があり，互いの学校紹介を通して異文化に対する理解を深めることができました。

和食文化の交流や，学校紹介を担当した代表生徒の感想

○積極的に話しかけて，コミュニケーションをはかることが出来ました。外国の人と接するのに少し慣れることが出来ました。同年代ということもあり，色々な話を彼女たちとすることが出来て良い経験になりました。私たちが説明をして，作業は主に彼女たちにしてもらったので，日本食の作り方について学び，味わってもらうことができたと思います。昼食を食べる前に皆の前で菊花豆腐について発表する時も日頃の授業で学んだことを活かし，ジェスチャーをつかったり抑揚をつけたりして話すことで満足のものとなりました。皆に私の英語が理解してもらえて嬉しかったです。

○オーストラリアと日本の文化の違いを強く感じました。一人ひとりが自由でのびのびと，でもみんな協力している感じがすごくいいなと思いました。私たちの拙い英語にも耳を傾けてくれたし，やっぱり「移民の国オーストラリア」と言われるだけあって，様々な立場の人を受け入れる姿勢が自然と出来ているのだなと思いました。英語力の向上はもちろん，人との関わり方についても考えさせられた1日でした。

○SSCの人は私の英語に耳を傾けてくれて，日本語で「こういうこと？」と言って聞き直してくれたりもしました。すごく温かさを感じて嬉しかったです。今回の交流で「伝えようとする気持ち」の大切さを学びました。話しかけなかったら何も伝わらないし，交流も深まらない，そう思って積極的になったら本当に仲良くなれました。国や文化の違いは関係ないと思いました。

